

～宇土市の早期復旧・復興に向けた～

まちづくり座談会 次第

平成 28 年 10 月 14 日 (金)	19:00～21:00	緑川公民館
10 月 17 日 (月)	19:00～21:00	網田公民館
10 月 19 日 (水)	19:00～21:00	住吉漁協会議室
10 月 24 日 (月)	19:00～21:00	走潟公民館
10 月 26 日 (水)	19:00～21:00	轟公民館
10 月 28 日 (金)	19:00～21:00	仮設庁舎 2 階会議室
11 月 1 日 (火)	19:00～21:00	花園コミュニティセンター

1. 開 会

2. 挨 拶

宇土市長 元松 茂樹

3. 説 明

宇土市震災復興計画（第 1 期）策定方針について

4. 座 談 会

宇土市及び自分の住んでいる地区の復旧・復興について

5. 閉 会

【配布資料】

- 資料① まちづくり座談会次第（P 1）
宇土市震災復興計画（第 1 期）策定方針について（P 2～5）
宇土市の被害状況等について（P 6）
- 資料② まちづくり座談会参加者アンケート

宇土市企画課企画政策係

～宇土市震災復興計画（第1期）策定方針について～

1. 宇土市震災復興計画（第1期）とは

宇土市震災復興計画（第1期）は、熊本地震や地震に起因する豪雨災害からの早期復旧・復興を実現させるため、宇土市の復旧・復興の方向性や取り組みをまとめるものです。

平成28年度中の策定（完成）を目指しています。

2. 基本理念

宇土市震災復興計画（第1期）では、第5次宇土市総合計画で掲げた「みんなでつくろう元気な宇土市！」の理念を継承し、みんなの力で震災前よりさらに元気な宇土市をつくることを目指します。

また、宇土市震災復興計画（第1期）の推進にあたっては、以下に示す3つの基本理念に基づいて取り組みを実施していきます。

【基本理念】

1. 元気な宇土市を取り戻すための、被災者に寄り沿った迅速で効果的な復旧
2. みんな（市民、地域、企業、行政）の協働による、災害に強いまちづくり
3. 「これからも選ばれる」まちを目指した、未来につながる創造的な復興

3. 主要施策

策定方針において『くらし・生活の再建』『地域産業の再生』『社会基盤の復旧』『安心・安全なまちづくり』の4つを主要施策と位置付けました。

※ で示した取り組み内容については、座談会等での意見も踏まえて追加・修正等を行う予定です。

(1) くらし・生活の再建

震災からの復旧において、まず被災前の生活を取り戻すことを第一に迅速に取り組む必要がある。その中でも生活の拠点である被災者の住宅再建は最重要項目であり、今後も加速して進めていく必要がある。また、十分に被災者の意向を聴きながらニーズに応じたサポートを行い、被災者が早急に日常を取り戻すことを目指す。

- | | |
|----------------|-----------------|
| ①被災者の「すまい」確保支援 | ②被災者の生活再建へのサポート |
| ③安心・安全な生活環境の確保 | ④被災者の健康・心のケア |
| ⑤災害応急対策の継続 | ⑥その他 |

(2) 地域産業の再生

震災により地域の産業は大きな損害を被った。前震・本震の大きな揺れにより市内全域で商店や工場の建物や設備が被害を受け、震災に関連した豪雨災害においては、西部地区を中心に農林漁業に甚大な被害を受けた。被災による地域産業の衰退を長期化させないためにも、国及び県と情報連携しながら、産業再建支援策を活用した復旧に留まらない、早急な復興再建を目指す。

- | | |
|-------------|---------------|
| ①商工業再建への支援 | ②店舗・工場等の復旧支援 |
| ③農林漁業再建への支援 | ④農林漁業施設等の復旧支援 |
| ⑤その他 | |

(3) 社会基盤の復旧

これまで経験したことがない揺れにより、多くの公共施設が被害を受け、行政・防災の拠点施設であり市のシンボルであった宇土市役所本庁舎が崩壊した。また、市内一円で道路の損壊をはじめ、上下水道機能の不全など多くの生活インフラが被害を受けた。社会基盤の要である公共施設やインフラの損壊は、日常生活や産業にも大きく影響を及ぼすこととなった。

被災からの早期復旧はもとより、今後は免震化や耐震化など災害に強い構造を推進するなど、防災機能の強化を目指す。

- | | |
|------------------|---------------|
| ①復興のシンボルとなる庁舎の再建 | ②被災した公共施設の復旧 |
| ③公共施設の防災機能強化 | ④インフラの復旧・機能強化 |
| ⑤災害復旧工事の迅速な実施 | ⑥その他 |

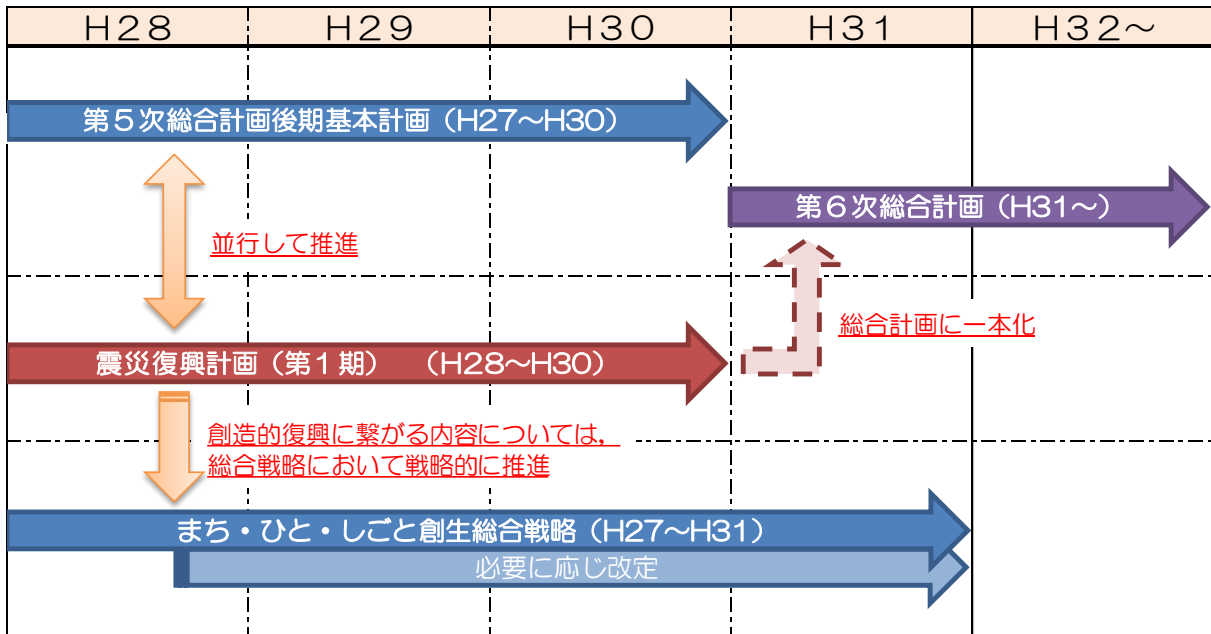
(4) 安心・安全なまちづくり

今回の震災ほど、地域コミュニティの大切さ・必要性を際立たせたものはない。震災直後から避難所だけでなく、地域においても住民が互いに声を掛け合い、助け合いながら苦難を乗り越えてきた。今後はこの教訓と経験を生かし市民・地域・企業・行政が力を合わせ、誰もが安心して暮らせる災害に強いまちづくりを目指す。

- | | |
|---------------|---------------|
| ①地域防災計画の見直し | ②避難所の見直し・機能強化 |
| ③自主防災組織へのサポート | ④予防防災活動の推進 |
| ⑤地域のまちづくり活動支援 | ⑥その他 |

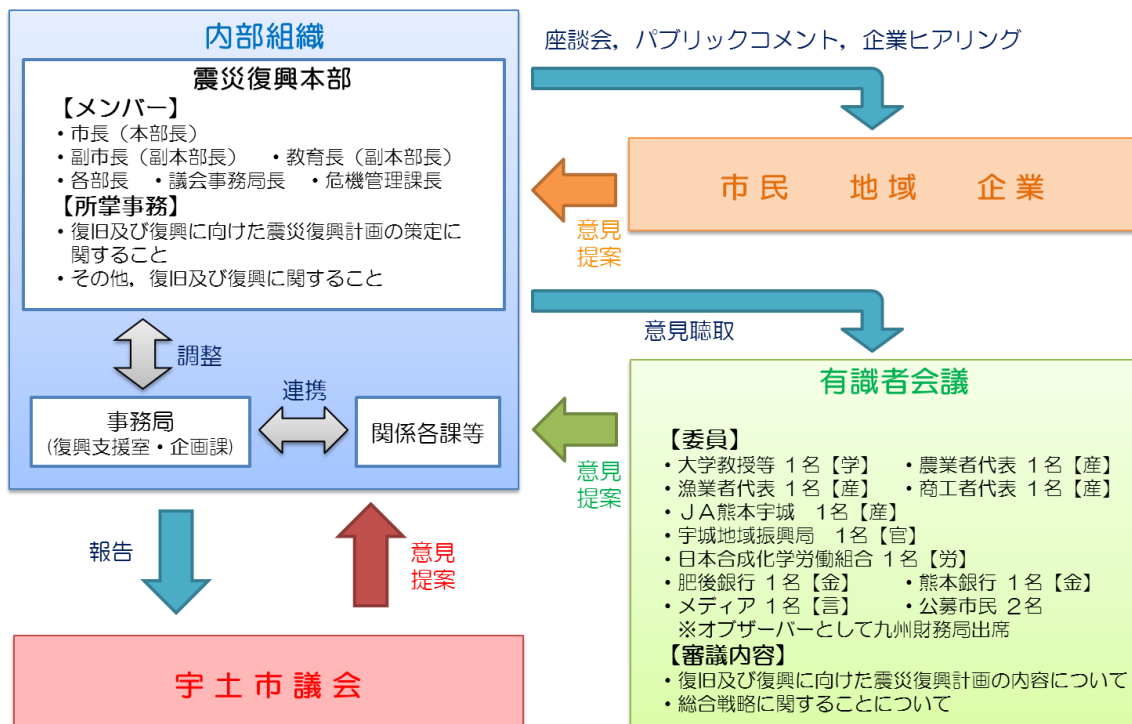
4. 計画期間

平成28年度～平成30年度を計画期間とし、その他の計画と連動して取り組みを実施する予定です。



5. 策定体制

市民・地域・企業，有識者会議，宇土市議会といった宇土市全体から出された意見・提案を取り入れて策定する予定です。



宇土市の被害状況等について (H28. 10. 11 時点)

1. 住宅被害・住宅支援

①り災判定の状況

(単位：件)

	全壊	大規模半壊	半壊	床上浸水	床下浸水	一部損壊	計
熊本地震	119	165	1,112			5,316	6,712
豪雨災害	3	9	58	130	128	0	328

②応急仮設住宅 高柳仮設団地42戸ほか 合計143戸整備

③みなし応急仮設住宅 申請件数200件 決定件数192件

④被災建物等解体・撤去支援（公費解体）

申請件数549件

着工済件数35件

解体完了件数5件

2. 土木・農林水産業被害

土木被害 被害額12.5億円 件数122件

農林水産業被害 被害額10.6億円

(農地1.3億円 柑橘施設1.4億円 海苔養殖業機械2.5億円 ほか)

※農林水産業被害については、豪雨災害によるもので、地震による被害総額については現時点で算定不能

3. 地震被害等により使用できない公共施設（主なもの）

市役所本庁舎，中央公民館，網津支所，網津公民館，市民会館（大ホール），老人福祉センター，市民体育館，宇土市武道館，宇土市スポーツセンター，網津地区多目的研修施設，学校体育館（走潟小，網津小，網田小・中，住吉中）

4. 宇土市の予算状況（9月補正後）

平成27年度歳出予算 152.1億円

平成28年度歳出予算 247.8億円 ※昨年度比95.7億円(63%)増